

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

保育園番号	
園名	こどもヶ丘保育園野方園

1. 活動テーマ

【テーマ】

表現(絵本) (3歳児)

【テーマの設定理由】

絵本はほぼ毎日子どもたちが触れる身近なものであり、絵本を通してなりきってみたり、絵を書いてみたり興味関心を広げている。またお店屋さんごっこに夢中で繰り返し楽しむ子どもたちの姿があり、絵本からさらに自由に表現することの楽しさに繋がっていきたいと感じたため。

2. 活動スケジュール

1. さまざまな絵本に親しみ興味関心を広げる
2. 興味のある遊びと絵本に結び付けていく
3. お店屋さんをテーマとした絵本を充実させ、さらにイメージを広げる
4. 必要な物を準備し一緒に作り上げることで自由に表現を楽しむなどさらに表現を深める

3, 探究活動の実践

【活動の内容】 10月 15日(水)～ 2月 20日(金)

・活動のために準備した素材や道具、環境の設定

●お店屋さんのイメージを広げるなりきる表現のため

⇒お店屋さんをテーマとした絵本、色画用紙で作ったサンバイザー、絵本を手に取りやすくする本棚やごっこ遊びの十分な空間などの環境。

●自由に表現するため

⇒ダンボール、色画用紙、絵の具、ペン、はさみ、のりなど遊びの中に製作コーナーを取り入れる。

・活動の内容

1. 物語や図鑑など、読み聞かせの時間や自由遊び時に自由に楽しむ。
2. お店屋さんごっこに興味を持ち、繰り返し楽しむ。
3. 絵本でアイスやピザなどの食べ物に興味を持ち、製作遊びの中でも表現して作る。
4. お店屋さんをテーマとした絵本にさらに触れ、イメージを膨らませる。
5. アイス屋さん、ピザ屋さん、ドーナツ屋さんなど、自分のやってみたいお店をイメージし、必要な物を作ったりお店屋さんになり切ったりして楽しむ。
6. 異年齢の友達や保護者をお客さんとして招待し、やり取りを楽しむ。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

- 1, 2, お店屋さんごっこに興味を持ち、保育者と「いらっしゃいませ」などのやり取りを繰り返し楽しんだ。絵本に出てくるものも商品に見立てて楽しむ姿もあった。
- 3, アイス屋さんをしたいという思いが生まれ、どんなアイスにしたいか保育者にイメージを伝えながら自由に表現して作ることを楽しんでいた。
- 4, 5, お店屋さん、関連した食べ物をテーマとした絵本を読み「次はこんなお店をしてみたいね」とイメージが次々膨らんでいた。子どもの様子に応じ、絵の具やのり、はさみなど発達や興味のある道具を使いながらさらに表現を楽しめるようにした。
- 6, クラス内だけでなく、「もっとお客さん来てほしいね」の声から異年齢や保護者とも関わりを楽しんだ。照れくさそうながらも満足感を味わえた様子だった。

5, 振り返り

【振り返りによって得た保育者の気づき】

子どもたちの興味あるものをテーマに遊びを深めていったことで、子どもたちも意欲的に遊びイメージを膨らませやすかったように感じた。絵本だけでなく、アイスやドーナツなど実物のメニューも一緒に環境の中に準備しておいたことも、イメージを広げるきっかけ作りになっていた。

表現の仕方はそれぞれ個人差や個性があり、どんな部分をその子は今一番楽しんでいるのかを探りながらできるようにしていくことの大切さを改めて感じた。クラス内だけでなく、異年齢児や保護者とも交流する機会に繋がり、そこでより表現の幅が広がっていた。はじめは個々で楽しんでいたお店屋さんが、友達とつながり、やがて一つのものを協力して作る姿に変わっていき、成長を感じられる場面がたくさん見られた。

<活動の流れを掲示した>

